

保育ボランティア・職場体験マニュアル（2014）

社会福祉法人昌和福祉会
千田西保育所
千田保育所

常に子どもの育ちと子育てを支えている保育所では、近年ボランティア活動への関心が高まり多くのボランティアを受け入れています。

ボランティアの心得

1. ボランティア活動とは

自分の意志で地域社会のために役立つ活動のことです。また、一部の人だけが行うものでなく、いつでも、どこでも、誰でも始められることができ、心のふれあいを大切にし、互いに助け合いながら、隣同士で助け合うことや社会福祉施設の手伝い、地域の福祉を担う活動など身近な活動から国際社会の協力員の活動など様々な領域があります。

2. ボランティアの活動を通じて

個人・社会・地域のあらゆる方面に影響を与えています。

- ・ボランティア自身も成長していく（個人）
- ・社会の制度やシステムを変えていくことにも大きく貢献（社会）
- ・人間的な血・智・地の通い合う社会を作っていく原動力（地域）

3. ボランティア活動のワンポイントアドバイス

『気楽な気持ちで』

ボランティアをしようと思うとき、まず自分ができること、やりやすいことを身の回りから見つけて活動を始めましょう。

『あなたの持ち味を生かす』

特別な知識や技術を身に付けなくても今もっている趣味や仕事を生かします。あなたの持ち味を生かしましょう。

『家族や周囲の理解を得よう』

家庭内や仕事仲間など、まず身近な人に理解を得てから取り組みましょう。

『小さな力が集まると大きな力になる』

活動は小さいかもしれませんが、それが集まれば、大きな力となります。

『相手を理解して活動しよう』

何を求めているか、考えて行動しないと、逆に迷惑をかけることにもなります。心配りや話し合いなど連携をとって活動しましょう。

『無理をせず、細く長く活動しよう』

継続することに本当の意味があり、無理をしないで一步一步目標に向けて活動しましょう。

『時には活動の振り返りをしよう』

状況変化します。活動の点検・評価し、今後の活動に生かしましょう。

『最低限のルールを守ろう』

ボランティアといっても最低限のルールがあります。約束や秘密を守り、けじめをつけた活動をしましょう。

ボランティアや保育体験等を受け入れることの意義

① 長期的な子育て支援

授乳やおむつ交換、抱っこや小さい子どもたちと一緒に遊ぶといった経験が得にくい小・中・高生にとっては、保育体験は貴重な実体験です。将来、親になったときの子どもの関わり方など不安を解消する長期的な子育て支援となっています。

② 多様な人々の中で育つ

現在の子どもたちは、地域の人々からよりよい影響を受ける機会が極端に少なくなってきました。自らの意思で積極的に活動するボランティア・保育体験者は、様々な刺激を子どもたちに与えてくれる存在になっています。

③ 異年齢の子どもたちの育ちあい

一人っ子や兄弟姉妹の少ない現代の子どもたちには、年齢が上の子どもと接する機会の意味は大きく、また思春期の子どもたちには幼い時期を振り返り、自分を見つめなおし成長していくすばらしい機会になっています。

保育ボランティア活動の心構え

いよいよ始まります。気をつけてほしいことがありますので、よく読んでおいてください。素敵な活動になるようにがんばってください。

- ① 自分より、はるかに小さい子どもたちの中で過ごすことになります。自分の過去、幼児期を振り返ってどんなことが思い出されるでしょうか。
- ② 楽しかったり、悲しかったり、頭にきたり、うれしかったり、いろいろなことがあった幼児期、友だちや先生などいろんな人が周りにいたことでしょう。今度はあなたがその「人」になります。
- ③ 小さい子どもたちには、あなたたちはとても大きく、頼もしい存在だと映るでしょう。将来あんなふうにならうと思いを描くでしょう。
- ④ 出来るだけ丁寧に話しかけてみましょう。自分から名前を告げることも忘れずにしよう。
- ⑤ 小さい子どもたちは、びっくりしてしまいます。やさしく気をつけてあげましょう。
- ⑥ 活動が終わったら「おもしろかったね」「またあそぼうね」と、あいさつや言葉がけをしてみましょう。

子どもたちからどんな反応が返ってくるかな？ 楽しみにがんばってみましょう。

<ボランティア受入れ手順等>

受入れ窓口・・・・・・・・千田西保育所・千田保育所で受け付けます。

担当者の設置・・・・・・・・所長・主任保育士・指導保育士・地域子育て支援センターの担当者

ボランティアの種類・・職場体験を通じて職業観を養うため

専門技術の自己研鑽のため

行政、教育機関・各種団体（社協等）からの推薦

受入れ対象者・・・・・・・・年齢性別・職種によって制限はありません。

受付方法・・・・・・・・直接訪問・電話・FAX・email 等

オリエンテーション・・受付時に保育所で（又はメール等で）心得や必要伝達項目をお知らせします。

○下記のさんきゅうボランティアにて希望者は登録を行います。

○持参物

エプロン2枚、三角巾、帽子、メモ帳、筆記用具、

その他、楽譜、玩具、水着や着替え（夏期）、防寒着（冬期）等

※ お弁当（ごはん（白飯）：千田保育所のみ）

○身の回りの格好

つめ・髪・服装を清潔にする。

服装は、動きやすいもの（サンダルは不可）

プログラム内容・・・・・・・・

期間・時間・体験内容・きまりによって異なります。

本人の希望を元に作成します。

通 常 8：30 までに集合・準備

9：00 より活動

13：00 より休憩

16：00～17：30 までに解散

事後感想・・終了日または、終了時間 30 分前に、感想をまとめます。

保護者・児童に対して・・ボランティア参加者の園での活動を知っていただくため、

活動日に部屋の前に自己紹介文の掲示をお願いします。（当日朝に作成）

衛生（検便等）・・・・・・・・乳児等のクラスで活動する場合、また期間によってお願いします。

給食等・・・・・・・・保育所で参加者に用意します。（お茶は各自持参）

下記の機関との連携をします。

小学校・中学校・保育士養成校（専門学校・短期大学・大学）・福祉機関（県社協等）

行政（国・市（児童部その他）

保育体験ボランティア（さんきゅうボランティア）

登録書

社会福祉法人昌和福祉会
千田西保育所
千田保育所

登録日	年 月 日
ふりがな 名前	
所属	学校名 学科・学年 職場名
連絡先	住所 電話番号（ - - ）
初回 希望する日・時間	曜日・期間等（ ） （ 時 分 ～ 時 分）
初回 希望する内容	・0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・調理・地支援
交通手段	・バス ・自転車 ・送迎してもらう ・自家用車
登録 (今後の活動を踏まえ)	・登録します ・登録しません
担当者	() ()
事前説明	・あり ・なし

(体験の感想など)

(担当者コメント)
